

これって どうなの??

早

朝7時、横浜駅東口のマクドナルドに入ったときのこと。目の前に横浜港が広がるオーブンデッキには犬連れのご夫婦が、店内は出勤前の会社員で賑わっていた。2階にある注文カウンターに向かうと階段をのぼると、いやに登りやすい。階段のステップは奥行きがあり、段差も低く、歩きやすいことこの上なし。景色に目を奪われ転ばな



イラスト／安彦麻理絵

いように、との心遣いを強く感じた。

また、大量の荷物をかかえ、タクシー乗り場で待っていたときのこと。いつも客待ちのタクシーでいっぱいなのに、この日に限って一台もなし。やっときた個人タクシーの運転手さんが、

「どちらへ行かれますか。事故で大渋滞なので、料金がかりますよ」

と声をかけてくれた。方角を言うと、

「抜け道まで混みますが、いいですか。そこからはいつも通りにいけると思います」と丁寧に教えてくれた。こんな運転手さんは初めてで、いつもより金額は高くなったものの気持ちよく家まで乗せてもらった。

ちよとした心遣いに感激しやすくなったのは、年を重ねたからだろうか。

うか。いや、運動に携わる中で、

自身心が動くようになったのだと感じる。心が動かないときには、気づかなかったちよとした思いやりや親切が、すつと心に響いてくる。世の中は嫌なことばかりだけれど、自分自身の心ひとつで案外幸せな気持ちになるようだ。

〈事務局長 山橋由貴子〉



のんちゃんのおすすめ紹介

深大寺編



東京で一番古いお寺といえば、浅草寺。では、2番目に古いお寺をご存知ですか？ 答えは、733年(奈良時代)に建てられた深大寺。ご本尊は、平安時代に活躍した比叡山の高僧、通称「元三大師」で、おみくじの原型をつくった人物といわれています。

もともとのおみくじは、吉凶の割合は7:3と決められていましたが、凶が出るのは縁起が悪いと、割合を少なくしている神社仏閣が多いそう。しかし、深大寺は昔の割合を守っているため、「凶が出やすい」のだとか。さっそく引いてみると、「凶」が出た!!

思ったより、悪いことばかり書かれているわけではなかったので、一安心。「苦労は多いが、心正しく信心深ければ、後に運が開く…」とありました。気を引き締めて生きよ、との天からのメッセージとして、ありがたく受け止めることにします。

緑豊かで水のきれいな深大寺周辺。名物の「深大寺そば」を頂いたり、隣接する神代植物園を散策したりと、都会の喧騒を離れて、ゆったりとした時間を過ごしました。

また、深大寺のある調布市は「ゲゲの鬼太郎」の作者、水木しげるさんが長く暮らした地でもあります。門前には「鬼太郎茶屋」があり、カフェやギャラリーで妖怪ワールドを堪能することもできます。東京観光の際には、郊外まで少し足を延ばして訪れてみてはいかがでしょうか。

深大寺：〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-15-1
TEL：042-486-5511(9:00~17:00)

【アクセス】京王線「調布駅」「つつじヶ丘駅」より、バスで10~15分(各駅からバスでの行き方は、深大寺HPにてご確認ください)

